



土の人、逗子に住む人。
宝の上にはやがて、砂ぼこりが降り積もり、
土の中に埋もれてしまう。

風の人、海風と共に逗子に来る人。
砂ぼこりを舞い上げ、宝を掘り起こす。

逗子、風と土が交わる場所。

風×土

屋敷運営システムの提案

冒頭にも述べたが、屋敷は現在次々と売りに出され、敷地の細分化が起こっている。

それに対し、屋敷を残し、市民の手で運営できるようなシステムを考案する。

具体的には下記のようなフローで何パターンかを提案する。

市が買い取る



個人で買い取る



分割



公共施設へ

屋守制度適用

NPOが管理運営

民間委託

地域の人でシェア

・図書館

・集会所

・学校

・児童館

・ケアセンター

・託児所

・レストラン

・料亭

・宿泊施設（松竹梅）

・会員制別荘

・グループホーム

・個人邸宅

公共性
高

低

シンボルロード沿い 「文化の継承」 子どもは風の子プロジェクト



①



②

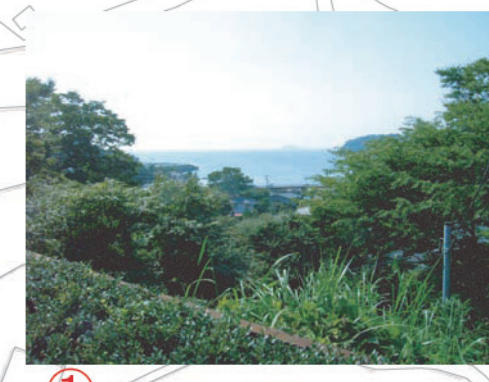
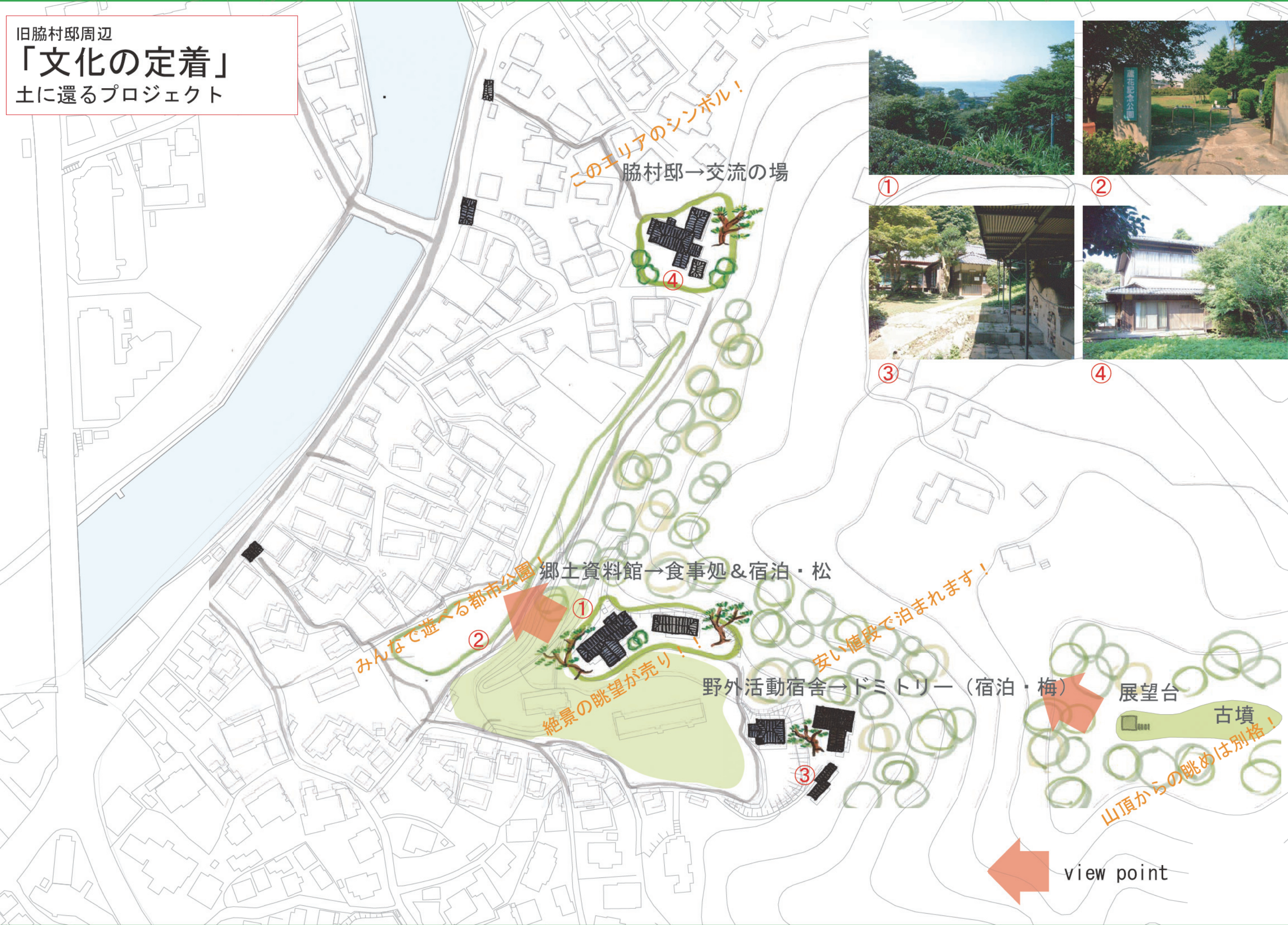


③



④

旧脇村邸周辺 「文化の定着」 土に還るプロジェクト



①



②

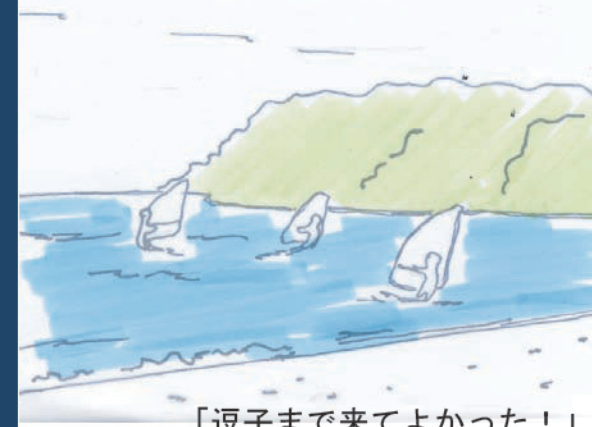


③



④

口海に遊びにくるひと
「ウインドサーフィンは最高だね！」



「逗子まで来てよかった！」

口散歩コースで屋敷めぐりのひと
「逗子を歩いてみよう」



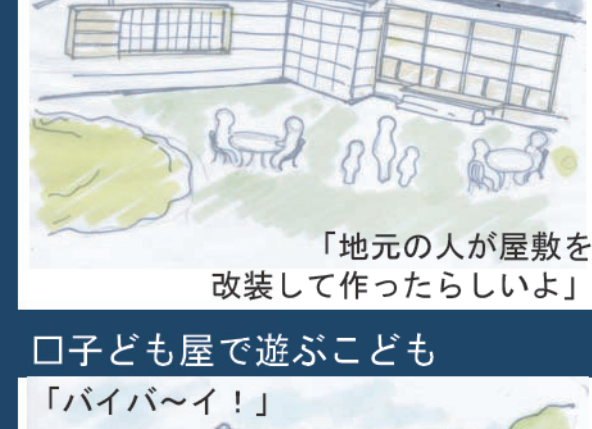
「素敵な屋敷がたくさんあるね」

口ドミトリーに泊まる若者たち
「こんな屋敷に泊まれるのか！」



「安いし、仲間も多くて楽しいわ〜」

口屋敷での食事をするひと
「洒落たレストランだね」



口子ども屋で遊ぶこども
「バイバイ！」



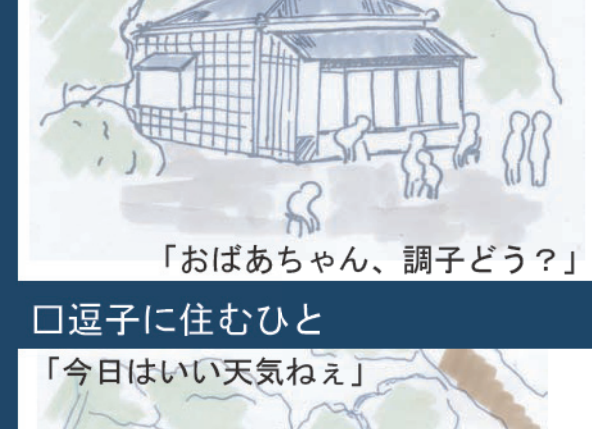
「ママ〜！東京の子と友達になったよ!!!」

口寺子屋で学ぶこども
「ここは…なので、こうなります」



「先生〜、そこ分らない〜！」

口ケアセンターの老人たち
「おはよう〇〇さん！」



「おばあちゃん、調子どう？」

口逗子に住むひと
「今日はいい天気ねえ」



「木陰は気持ちいいですね」